

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスよぎ長与校		令和6年 11月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		学習室、ブレイルームを分け活動を行っている。また、児童の様子に合わせて個室の利用等を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	標準基準以上の配置を行い、適切な人員配置を組んでいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	玄関に2段ほどの段差があるが、室内はフラットでおおむね適切である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃活動を欠かさず、心地よく過ごせる環境づくりに努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		児童の様子に合わせて個別の部屋や場所を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	指導員同士でのミーティングを行い、活動内容設定と振り返りを行っている。	休みの指導員への伝達が出来ていない時がある為、回覧や個別ミーティング等を活用して全指導員に参画出来るよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者から頂いたご意見は指導員で話し合い、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	常勤の指導員同士で意見交換を頻繁に行い、業務改善に努めている。	今後、非常勤勤務の指導員からの意見を聞く時間を定期的に設け、業務改善に繋げより良い支援提供が出来るようにして
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者委員会を設置している。	今後評価を頂ける機会を設けるように調整していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		オンラインセミナーや外部研修等への参加、及び社内研修を定期的に行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		面談やモニタリングを基に相談支援事業所と連携を図り、アセスメントを適切に行い保護者や児童のニーズを把握し計画書作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	計画書作成時期には会議を行い、児童のモニタリング内容を共有し、今後の支援方針を共有しながら計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	常勤指導員間で計画書の共有を図り、日々の支援に繋げている。	非常勤勤務の指導員への計画書共有を密に行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメント表を使用し、日々の行動観察、アセスメントの実施を行っている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画書内に「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の内夜を組み込み、個々に合わせた内容で支援提供を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		指導員間で話し合いを行い、児童に合ったプログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		様々な案を取り入れ、季節のイベント、戸外活動、集団遊び等の工夫を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々の特性やその日の情緒面、体調を考慮し活動の計画立て（変更）を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	児童を受け入れる前に話し合いを指導員間で行い、確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	緊急でない場合、翌日の午前中を中心に実施している。その日休みの指導員への周知も徹底している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日誌、支援記録の記入を徹底し、指導員間で情報を共有することで支援の検証・改善を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリング時期（6か月毎）には会議を行い、定期的に支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み込んだ活動プログラムを考え、支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		定期的に自身の意見を出す活動、自己選択が出来る活動を取り入れ、自己決定力・自己発信力を育てる支援を提供している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当指導員や児童発達支援管理責任者が主に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	こども部会内で保健所、福祉課、保育所、教育委員会、医療機関との会議があり、連携を図る体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	急な下校時間の変更で連携がうまくいかない事もあるが、その他は密に連絡を取り合い連携を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	保護者や児童発達支援事業所からの情報を頂いている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	以前福祉サービスへ移行した児童が居たが、その際は情報提供の必要がなかった。	必要に応じて情報提供が出来るように準備を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		今後、必要に応じて助言や研修を受ける機会を作っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	児童クラブや公園等で地域の児童と一緒に遊ぶ機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		長与町こども部会への参加を行っている。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳やLINE等で連絡を取り、送迎時に話をしながら連携を取れるよう心がけている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	年に数回親子イベントを開催し、親子療育を行っている。	長崎市や長崎県が委託している制度の活用を行っていききたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学や体験時、契約時に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		日々の支援の中で児童の意思を確認しながら支援を行っています。また、面談時や送迎時に保護者と話す中で意向の確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		6か月毎の個別支援計画書の更新時には面談を行い、計画書の説明を行い同意、署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご家族から悩み等相談された際は、送迎時に対応を行ったり、必要に応じて面談の場を設け助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	4	親子イベントを開催し、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会提供が出来るよう努めています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		指導員間で情報を共有し改善に努めている。苦情やトラブルが発生した際は、児童発達支援管理責任者や管理者が迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		昨年度数回活動内容を通信として発行したが、継続が出来ていない。	冬休みの活動報告から再度定期的に発行できるように努めていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		アルバイトの大学生に至るまで徹底している。鍵付きの書庫で書類保管をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		現在特別に配慮が必要な児童が居ない。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		現在出来ていないため、今後少しずつ検討をしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		その都度必要に応じてマニュアルの改正を行い、ホームページにて確認できるようにしている。また、定期的に訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		災害時に備え必要備品を備えている。年に4回避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に服薬状況についてお尋ねしている。また、処方内容が変わった際は連絡を頂くようお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	利用開始時に食物アレルギーの有無確認を行い、周知徹底を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		令和6年4月より施行しており、各指導員へ周知し、安全管理を行いながら支援することが出来ている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			令和6年4月より安全計画の施行がされているが、保護者への周知が出来ていなかった為、今後順次周知を行っていく。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		報告書を作成し、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年間研修予定に組み込まれており、指導員全員が研修を受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		児童の安全確保のため行うことがあることを計画書に記載し、保護者に説明を行い了承を得ている。	